

国民民主党代表
 衆議院議員

たまき 雄一郎



新しい時代を
 みんなと一緒に
 つくりたい。

2020年、新しい価値観で新しい時代を。

2020年、世界は大きな変化の時代に入っています。日本もこの変化に対応できるかが問われています。特に、人口減少問題。1年間に生まれる子どもの数が香川県の人口より少ない86万人になったと発表されました。従来と同じ発想、同じ政策を進めるだけではこの傾向を変えることはできません。これまではどうしても男性目線、大人目線、経済成長最優先の考えで突っ走ってきた日本社会でしたが、これからはもっと、子どもや若い人、そして女性の視点を政策や政治のど真ん中におかなくてはなりません。

また、地元に戻ってきて聞くのは「地方は全然良くなっていない」という声です。アベノミクスは確かに大企業、大都会を豊かにしました。しかし、地方にその恩恵はいつまで経っても届きません。経済政策ももっと地方や家計を、そして環境を重視するものに変えていかなくてはなりません。

特に、農政はそうです。自民党を支持している人からさえ、今の農政は間違っているという声を聞きます。輸出優先の農政ではなく、自然と調和し食料安全保障に重きを置いた農政に変えるべきです。

足尾鋳毒事件で有名な田中正造は、100年前に「文明」について、次のような言葉を残しています。
 「真の文明は、山を荒らさず、川を荒らさず、村を破らず、人を殺さざるべし」

気候変動により毎年大規模な自然災害が発生し、多くの命が奪われています。私たちは、明治維新以降、追求し続けてきた自然を自在にコントロールできるという発想を転換し、今こそ謙虚に近代文明の限界や過度なグローバリズムの弊害に向き合う必要があります。

子ども・若者、女性、環境。
 これらの価値をど真ん中に据えた新しい政治をスタートさせる年にしたいと思います。

国民民主党代表
 衆議院議員

玉木雄一郎

ついに、四国水族館オープン! 民間の力で香川を活性化

本年3月20日、これまで実現に向けて応援してきた四国水族館がついにオープンします。香川のみならず四国全域への観光客の増加や地域経済の活性化が期待されます。JR四国さんにもご協力いただき、**全ての特急列車が宇多津駅に停まるようになりました。**多数のお客様のご来場を期待しています!



四国水族館 〒769-0201 香川県綾歌郡宇多津町浜一番丁4 TEL 0877-49-4590



香川県の子どもたちの読解力向上のため、たまき動きます!

日本の子どもの読解力低下が問題となっています。そこで、**合計1,000冊の絵本を自分の子どもに読み聞かせてきた先輩パパとして、玉木雄一郎が妻と一緒にボランティアで読み聞かせをします。**子どもに何を読ませたらいいんだろう、これからの教育どうしたらいいんだろう、いろんな悩みを抱えているママさんやパパさん、お子さん連れでぜひ気軽に立ち寄ってください!

世界が広がる読み聞かせ & ブックトーク

日時: **3月21日(土) 10:30~12:00**
 場所: **香川短期大学内 渚荘**
 (綾歌郡宇多津町浜一番丁10)
 募集予定人数: **20組40名**
 ※お問い合わせ 坂出事務所 TEL 0877-46-1805



玉木雄一郎(たまき ゆういちろう) プロフィール
 昭和44年、香川県さぬき市生まれ。高松高校、東京大学法学部、米国ハーバード大学院卒業。財務省主計局主査などを歴任。平成21年衆議院選で初当選、当選4回。平成30年9月、国民民主党代表に就任。

事務所・連絡先
 寒川事務所 〒769-2321 香川県さぬき市寒川町石田東甲814-1
 TEL: 0879-43-0280 FAX: 0879-43-0281
 坂出事務所 〒762-0003 坂出市久米町1-15-35
 TEL: 0877-46-1805 FAX: 0877-43-5595
 国会事務所 〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第1議員会館706号室
 TEL: 03-3508-7213 FAX: 03-3508-3213

フェイスブックで随時活動を更新中!
 たまき雄一郎 検索
 ホームページ & メール
 HP: <http://www.tamakinet.jp/>
 pr@tamakinet.jp



出生数ついに90万人割れ 政治が最優先で取り組むべき課題は 子ども、若者を重視する政策だ

日本が直面する一番の問題は今まで経験したことがない少子化です。2019年の出生数は86万人と90万人をついに割ってしまいました。今の制度は、未来を作る働く若い世代に大きな負担がかかる仕組みになっています。働く若い人が元気でなければ高齢者福祉などの社会保障も立ち行かなくなります。そこで、若者対談企画ということで高校生の坂野さん、大学生の山口さんに来てもらい、若者の率直な思い、そして玉木雄一郎が考える若者政策を語りました。



玉木 本日は若い人からお話を聞いてみたいと思います。それぞれの立場で今何か困っていること、将来に不安を感じていることはありませんか？

坂野 2019年は英語民間試験の導入延期など大学入試改革をめぐる問題に当事者として振りまわされました。英検予約金の返金対応など受験生も先生たちも大混乱しました。

若者の声が国を動かした

玉木 大学入試改革については、高校生たちが多くの意見を届けてくれました。国民民主党の城井崇衆議院議員をはじめ多くの議員が大臣を国会で追及、要請してついに英語民間試験と記述式の両方を延期に追い込みました。これは若い皆さんの声援や意見で国の制度を変えた大きな出来事でしたね。**坂野** 結果的に延期になったことは、ひと安心です。ただ、進学に限らず就職の道を選択しても、保険料

や税金などが国にたくさん引かれてしまって生活に困りそうで心配です。ネットの記事で見たんですが、玉木さんは若者の所得税・住民税の免税を提案していますよね。この提案には、どんな意図があるのですか。

「若者免税」とは？

玉木 私の考えている「若者免税」は、10〜20代の働く若者の所得税・住民税を免税する政策です。現在の社会保障制度を前提にすると、現在の20代の受益と負担のバランスは、生涯において1200万円ものマイナスです。それに対して60代はプラス4000万円です。明らかに世代間格差が生じています。これをアメリカの学者は「**財政的幼児虐待**」と命名しています。この格差を是正するために、若い世代への免税が必要です。奨学金の返済をしたり、結婚や自身のステップアップ

に向けて貯蓄したりする人生のスタートアップ期間を応援する政治にしたい。

実際にポラ
ンドは優秀な若者の国外流出を防止するため26歳未満の若者に免税措置を導入しました。日本でもこの「**若者免税**」を導入すれば、世界中から優秀な若者が日本に集まり人口減少への対策にもなります。若者免税こそ、今の日本にこそ必要な政策だと考えています。



坂野 「若者免税」は斬新なアイデアだと思いますが、是非実現して欲しいですね。少ない給料の中で手取りが増えると、それだけで生活や結婚への不安がぐっと減る気がします！

玉木 実際の高校生にそう言ってもらえると心強いです。政策に生かしていきたいと思います。さて次は大学生の山口さんに、今心配なこと、困っていることを伺います。



国会事務所には、いつも多くの若者が訪ねてきてくれます。参考になる提言もしてくれます。

山口 先程も少しあったけれど、今の日本で結婚・子育てが本当にできるのか不安です。親も若くないし、金銭的にも難しいんじゃないかなって。

第3子に1000万

玉木 若い人、特に女性の中に、同じ様な子育ての不安を主張される方が多いです。早くから考えておくことは大切ですよ。少子高齢化が進む日本で、これまでの延長線上ではない大胆な取り組みをしなければなりません。その一環として、私は第3子に計1000万円の給付を訴えています。第3子を諦めた夫婦にアンケートをとったところ、75

%が経済的理由をあげています。実際、子どもを1人大学まで進学させて育てるのに公立ストリートだとしても約3000万円、私立なら6000万円もかかります。子どもを持つことの経済的負担を大胆に軽減すべきです。

山口 第3子の支援はありがたいのですが可能なら第1子から支援がほしいです。そういう給付にまつわる財源は大丈夫なんですか？税金が上がれば元も子もないですよね…。

玉木 もちろん第1子への支援も充実させます。例えば不妊治療を公的保険の対象とすることを始め、子どもを持ちたくても持てない夫婦への支援を拡充したり、手取りが少なくて結婚を迷っている若いカップルには、「若者免税」などで応援します。ただ、年間90万人弱の子どもの生まれないうちで、第3子以上として生まれてくる子どもは今や年間16万人しかいません。第3子を持つのに経済的理由で諦めている夫婦がこんなにいるなら、社会全体で応援していくことが「第3子1000万円」政策の目的です。財源は、教育や子育て支援に用途を限定した「**子ども国債**」を発行し、人材への投資、未来への投資を増やしていくべきだと考えています。

山口 「子ども国債」の発行は新しい発想ですね。ところで、玉木さんはなぜ若者向けの政策に力を入れているのですか？

なぜ若者に注力？

玉木 それは私の信念で、次の選挙(next election)ではなくて、次の世代(next generation)こそ大

切にしたいという私の信念があるからです。そして先程の「財政的幼児虐待」の問題は若い人こそ知ってもらいたいし、政治参加を通じて変えていってもらいたいと思っています。だから若い人に講演する機会があることに話をしていきます。昨年全国の高校生が参加する「**高校生未来会議**」でこの問題と、解決策を訴えたところ、模擬投票で各政党中1位となりました。思いをもって語れば、若い人にも必ず届くと確信しています。

山口 動画配信サービスユーチューブの「**たまきチャンネル**」でも積極的に動画配信されていますよね。**玉木** ユーチューブを始めたのもより多くの人の声が聞けるプラットフォームで政策を呼びかけ、生の声を聞きたかったからです。これからも、新しいことにどんどんチャレンジしていきたいですね。

坂野 私も、最初に「たまきチャンネル」で玉木さんに興味を持つようになり、国会見学をさせていただきました。これからも玉木さんには、その場しのぎでない、未来を見つめた政治をお願いしたいです。

山口 今までは私たちより上の年齢層の人が選挙に行くからこそ、高齢者向けの政治に偏っている印象がありました。私たち若い世代がもっと積極的に政治に関わることが、今回伺った「若者に目を向けた政策」が実現する近道なんですね。**玉木** 一緒に日本をわくわくさせましょう。本日はありがとうございました。

YouTube
「たまきチャンネル」
登録お願いします！
政治や政策について分かりやすく発信しているので、ぜひ見てください！
QRコード